

2022年1月4日

肥後銀行 2022年 頭取年頭あいさつ

当行頭取（笠原 慶久）が、2022年の年頭にあたり、下記のとおり全行員に向けメッセージを送りました。

なお、本メッセージは動画配信をしており、下記リンクよりご覧いただけます。

記

〔内容〕

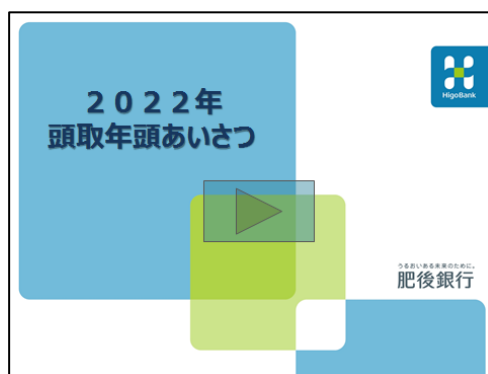
はじめに

1. 10年後を見据えて、具体的に動く年
2. パーパスにこだわる年

結びに

〔動画〕

メッセージ動画はこちらからご覧いただけます。



（外部サイトへリンクします。）

《本件に関するお問い合わせ》
九州フィナンシャルグループ 広報・IR部
担当：村山
電話 096-326-5607／携帯 080-8589-5278

株式会社肥後銀行

2022年 頭取年頭あいさつ

はじめに

笠原です。皆さん、新年あけましておめでとうございます。

いま、世の中は大きく変化している状況にあり、2022年の新年を迎えるにあたり、どのような年にしたいか、2つに纏めてお話しします。

1. 10年後を見据えて、具体的に動く年

まず1つ目、今年は10年後を見据えて「具体的に動く」ということをキーワードにしてほしいと思います。熊本日日新聞の取材でも、私は、今年の一文字を、「動く」、即ち、「動」としました。

昨年よりスタートした中期経営計画「改革」において、KFGグループおよび肥後銀行が10年後はどうあるべきかという長期ビジョンを定めました。そして10年後を見据え、今私たちが必要なことは、金融の殻を破り、地域やお客様のあらゆる課題の解決をお手伝いするビジネスモデルへと転換することです。昨年一年、まずは中期経営計画のスタートとして、新型コロナウイルス感染症対応はもとより、SDGsやDX、人材紹介や事業承継、遺言、資産運用、M&Aなど、個人も法人も、お客様に寄り添った様々な課題解決に、九州地銀のトップランナーとして取り組み、良いスタートが切れたと感じています。

2022年は、共有していただいた未来の姿をイメージしつつ、其々の支店や部署において、さらには、皆さん個人個人の担当業務において、「具体的な改革に向かって動く一年」としてほしいと思います。大切なことは10年ビジョンを見据え、将来に向かってどの様に改革していくべきか、持ち場、持ち場で具体化する努力であり、これを皆さんに実践してほしいということでもあります。

さらに言えば、今年は、主体的なコスト削減と、着実な収益増強により、「日本銀行の特別付利制度：日銀OHR」を必ず達成する年にしなければなりませんので、その意味でも具体的に行動していく一年にしていきましょう。

2. パーパスにこだわる年

2つ目は、「パーパスにこだわる年」にさせていただきたいと思います。つまり、「仕事も個人の生活も何のためにやっているのか」にこだわる一年にしてほしいということです。

私たち肥後銀行の存在意義、即ちパーパスは「私たちは、お客様や地域の皆様とともに、お客様の資産や事業、地域の産業や自然・文化を育て、守り、引き継ぐことで、地域の未来を創造していく為に存在しています」です。これを自分の仕事や日々の生活に落とし込んで考え、行動する一年にしてほしいと思います。一つ一つの仕事にパーパスを落とし込み、お客様の課題に寄り添い、お客様の成功をお手伝いすることで、「やりがい」や「充実感」につながり、楽しみながら仕事ができるようになります。

個人の生活においても、同様にパーパスを明確にし、それに到達できるように行動することで、自分だけでなく、家族、友人、またその周りの人も巻き込む、幸せで充実した人生が送れるものと思います。是非今年を、楽しみながら、成長を実感できる充実した一年となるようにしてほしいと思います。

結びに

結びになりますが、今年は「寅年」になります。実は私、今年「年男」でありまして、明日1月5日で満60歳の還暦を迎えます。還暦は人生を一回転し、もう一度生まれ変わるという意味があります。よって私個人としても改めて初心に還り、健康に留意し、気持ちでは皆さんの若さに負けないように、具体的に動き、「やりがい」のある年にしたいと思います。

また今年の干支は「壬寅」（みずのえとら）にあたり、「陽気をはらみ、春の胎動を助く」という意味があり、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になる、という意味があるそうです。今年一年が明るく楽しい年になると信じ、私の新年の挨拶とします。

以上ですが、繰り返しますと、今年は「10年後を見据えて、具体的に動く年」「パーパスにこだわる年」の2つです。今年も、皆で力を合わせ、元気に頑張っていきましょう。

以 上